

大村市 市制施行 65 周年記念

第17回



さくらサミット

in おおむら

～わがまちの桜とまちづくり～



オオムラザクラ

平成 19 年 4 月 14 日(土)・15 日(日)

シーハットおおむら「さくらホール」ほか

長崎県大村市

# CONTENTS

ごあいさつ	2
スケジュール	3
プロフィール	4
さくらサミット開催地・テーマ一覧	5
さくらサミット シンボルマーク・憲章・桜里園(オリオン)ネット	6
サミット加盟自治体紹介	8
北海道新ひだか町	9
宮城県柴田町	10
秋田県仙北市	11
福島県富岡町	12
茨城県日立市	13
群馬県前橋市	14
埼玉県北本市	15
埼玉県幸手市	16
東京都北区	17
新潟県新発田市	18
新潟県上越市	19
長野県伊那市	20
岐阜県本巣市	21
奈良県吉野町	22
鳥取県南部町	23
島根県益田市	24
島根県雲南市	25
熊本県水上村	26
宮崎県北郷町	27
長崎県大村市	28

## ❀ ごあいさつ

大村市長 松本 崇



今年、大村市は市制施行65周年という節目の年を迎え、その記念事業の一つとして「さくらサミット」を開催いたしました。

遠方からご参加いただきました加盟自治体の皆様を、心から歓迎いたしますとともに厚く御礼申し上げます。

このサミットは、桜をまちのシンボルとし、まちづくりを推進する自治体が連携して、ともに発展することを目的に開催されております。

本市は、平成4年度に第5回サミットを開催しており、今回で2度目となります。

本市には、国指定天然記念物オオムラザクラや県指定天然記念物クシマザクラのほか、約2,000本の様々な種類の桜が咲き誇る「さくら名所100選の地」大村公園をはじめ、随所に桜の見所があります。桜は、地域振興の核の一つであり、今回のサミット開催を機にさらに魅力のあるまちづくりにつなげていきたいと考えております。

近年、地方自治体を取り巻く環境は、年々厳しさを増してきており、多くの難題を抱えております。そのひとつとして、全国の多くの都市で中心市街地の空洞化が進んでおり、本市も例外ではありません。国は、中心市街地を活性化し、進展しつつある少子高齢社会に対応したコンパクトなまちづくりを進めるために「まちづくり三法」を改正したところであります。

このような時期に、サミット加盟自治体が一堂に会し、まちづくりについて意見交換をする機会ができますことは、まことに意義深いものがあります。今回のサミットでは、「わがまちの桜とまちづくり」をテーマにそれぞれの自治体のまちづくりの現状や課題、取り組みなど、様々な視点から幅広く論議し、お互いの知識や経験を共有しながらヒントを見出し、それぞれの自治体のこれからのまちづくり・まちの活性化に生かしていけるような実りのあるサミットにできればと思っております。

最後になりますが、サミット開催にあたりご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、加盟自治体の皆様、本日お越しいただきました皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます、挨拶いたします。

# 🌸 スケジュール

4月14日(土)

- 13:30 ~ **さくらサミット** 【会場】シーハットおおむら「さくらホール」  
開 会・オープニングイベント大村幼稚園合唱  
サミット全体会議  
    テーマ「わがまちの桜とまちづくり」  
    コーディネーター 篠田伸夫 氏  
共同宣言採択  
次期開催地発表  
全体会議閉会
- 16:00 ~ OMURA 室内合奏団アンサンブル  
おおむらフラワー大使選彰式  
花の街スケッチ大会表彰式  
長岡安平探訪物語  
記念講演会  
    講 師 桜木 歩 氏  
    演 題 「桜の出会い」
- 17:30 閉 会

- 18:30 ~ **交流会** 【会場】長崎インターナショナルホテル

4月15日(日)

- 9:00 ~ **市内見学**  
大村公園(オオムラザクラ) ~ 旧楠本正隆屋敷(ひなまつり) ~ 大村藩主大村家墓所
- 11:00 ~ **記念植樹** 【会場】野岳湖公園
- 11:20 ~ **昼 食** 【会場】おおむら夢ファームシュシュ
- 12:00 **解 散**

## ✿プロフィール

### サミット全体会議コーディネーター

#### 篠田伸夫 (しのだ・のぶお)



1943年、鳥取県生まれ。67年京都大学法学部卒業後、自治省入省。青森県地方課長、出雲市助役、消防庁救急救助室長を経て、87年より岐阜県総務部長兼博覧会推進局長として「ぎふ中部未来博覧会」を成功に導く。

その後、自治省振興課長、東京都総合計画部長、岐阜県副知事、消防庁次長、全国町村議会議長会事務総長などを歴任し、06年12月より全国仮設安全事業協同組合常任審議役。

第10回さくらサミット in 北区より、コーディネーターを務めている。

### 記念講演会 講師

#### 桜木 歩 (さくらぎ・ほ)



本名・後藤恭三。1943年、徳島県生まれ。長崎大学経済学部、カリフォルニア州立大ロスアンゼルス校卒。神戸市在住、64歳。

4月8日、花祭り生まれ。予定より早く生まれたので“花”叔母が取り上げる。幼稚園の通園途中の桜に魅せられ、小学校の学芸会の桃源郷に影響を受ける。中学生から接木を始め、高校生の時に家の周りに桜を植える。大学生で植木屋のアルバイトをし、桜の苗を育てる。47歳で桜の写真を全国・海外に撮り歩き、50歳で有楽町の百貨店で写真展を開催、写真集出版、帝国ホテル桜の間他で出版パーティーを行う。

桜を育て始め、ふるさと徳島で桜山を作り故郷・神山町を桜の町にしている。第二の故郷長崎のさくら植樹にも協力。シーボルトの桜の紹介や、大学、料亭、グラバー園他への植樹を行う。1999年、世界さくら協会設立。バチカン宮殿に桜を植樹する。

ネスレ日本(飲料サービス本部長)を退職し、写真集『桜』出版、写真展『桜は年中楽しめる』開催等、各方面で活動している。ホームページ『上質の桜』。



## ❁ さくらサミットシンボルマーク

さくらサミットのシンボルマークは、長野県高遠町で開催された第2回さくらサミットで採択されました。地球をあらわす円と桜の花びらで構成され、全体として人をイメージ化しています。人と人、まちとまちから始まるサミットの連帯・協力・調和が、グローバルな広がりを見せ、未永く継続していくことを表現するシンボルとして制作されたものです。



## ❁ さくらサミット憲章(平成元年9月22日制定)

### **Success** / 成功

第1条: 今後ともさくらサミットを開催し、サミットとサミットに参加するそれぞれの自治体のまちづくりを成功させるため互いに取り組みを進めます。

### **Approach** / 接近

第2条: 「21世紀のまちづくり」という目標を限りなく実現に近づけるため、相互に連携、協力しあって花を咲かせることが出来るように努めます。

### **Keyword** / 言葉

第3条: まちづくりの共通標榜である「桜」をキーワードとして「桜」に関する人や物の交流、情報の交換を行い、新しいまちづくりの手がかりを見出します。

### **Unity** / 調和

第4条: 文化、教育、福祉、産業、観光そして災害対策などにおいて、相互の連携、協力をとり、調和のとれたまちづくりを行うよう心がけます。

### **Relation** / 縁

第5条: 「桜」によって結ばれた縁を大切に、お互い友好を深め、21世紀に向かって前進していきます。

### **Agreement** / 合意

第6条: 共通の目標に向け、ふれあいと連携を築き、それぞれの自治体の進展と住民の生活文化向上に努めることに合意します。

## ❁ 桜里園(オリオン)ネット

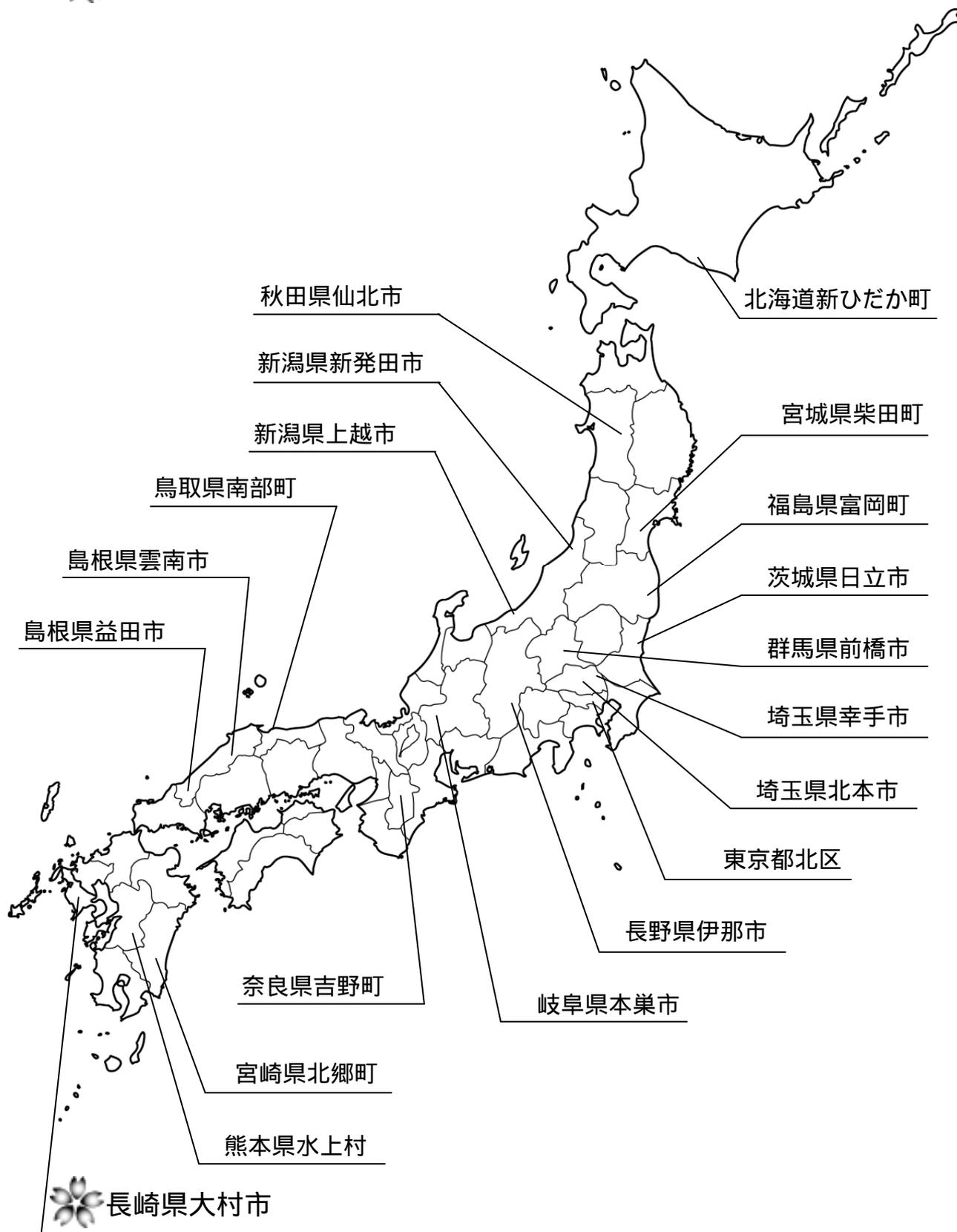
平成18年1月26日に開催された「第16回さくらサミットin富岡」において、サミット加盟自治体の連携強化・情報交換の促進のために各自治体のホームページを結ぶ「桜里園(オリオン)ネット」を構築することが承認され、稼動しました。さくらサミット加盟自治体へのとびらです。



## ❀ さくらサミット開催地・テーマ一覧

	開催地	開催日	サミットテーマ
第1回	島根県木次町 (現・雲南市)	昭和 63 年 4 月 11 日(月)	"桜"によるまちづくりと地域間交流
第2回	長野県高遠町 (現・伊那市)	平成元年 9 月 22 日(金)	桜によるまちづくりと地域活性化
第3回	群馬県鬼石町	平成 2 年 11 月 15 日(木) 16 日(金)	桜による地域開発
第4回	秋田県角館町 (現・仙北市)	平成 3 年 4 月 30 日(火)	桜による産業づくりと文化
第5回	長崎県大村市	平成 4 年 4 月 4 日(土)	桜をめぐる観光と交通
第6回	奈良県吉野町	平成 6 年 4 月 21 日(木)	さくら文化の醸成
第7回	高知県佐川町	平成 7 年 4 月 6 日(木) 7 日(金)	桜に憩う、桜を楽しむ
第8回	北海道静内町 (現・新ひだか町)	平成 8 年 5 月 9 日(木) 10 日(金)	さくらサミットからの桜情報の発信
第9回	新潟県上越市	平成 9 年 4 月 13 日(日)	桜のまちづくりと住民参加
第10回	東京都北区	平成 10 年 4 月 5 日(日)	さくらがつくる歴史と文化 - わがまちの桜 -
第11回	宮崎県北郷町	平成 11 年 4 月 4 日(日) 5 日(月)	人にやさしく桜にやさしい環境づくり
第12回	埼玉県幸手市	平成 12 年 4 月 9 日(日) 10 日(月)	幸せの手でつかむさくらの未来
第13回	茨城県日立市	平成 13 年 4 月 7 日(土)	桜と語るさくらの未来～元気さくらとネットワーク
第14回	岐阜県根尾村 (現・本巣市)	平成 14 年 5 月 18 日(日)	さくらと歩む地域の未来
第15回	熊本県水上村	平成 16 年 9 月 30 日(木) 10 月 1 日(金)	桜から桜まで～ツーリズムと通年型観光～
第16回	福島県富岡町	平成 18 年 1 月 26 日(木) 27 日(金)	～桜でひとつになる瞬間(とき)～未来への架け橋
第17回	長崎県大村市	平成 19 年 4 月 14 日(土) 15 日(日)	わがまちの桜とまちづくり

# サミット加盟自治体紹介



# ❁ 北海道新ひだか町 ❁



## まちの概要

「新ひだか町」は、平成 18 年 3 月 31 日にそれまでの「静内町」と「三石町」が合併して新たに誕生した新しいまちである。

新ひだか町は北海道の南東部日高支庁管内の中央に位置し、日高随一の盛観さをもつ日高山脈を背に雄大な太平洋を一望でき、温暖で緑あふれる自然に恵まれた、産業、経済、文化が発達した日高地方の中核都市である。

また、国内でも有数の馬産地であり、ダービー馬ウイニングチケット、タニノギムレットをはじめ、現在も活躍中のスイープトウショウ、コスモバルク、牝馬クラシック 3 冠が期待されるウオッカなど、数多くの名馬を輩出している。

## さくらの概要

約 3,000 本の桜が直線で 7km にもわたって咲き誇る一本道、二十間道路。そのスケールは日本屈指である。左右の並木の幅がちょうど二十間(36m)あることからそう名付けられ、日本を代表する桜の名所として「日本の道百選」や「さくら名所 100 選」、「北海道遺産」にも選定されている。

かつてこの地にあった宮内省の御料牧場を視察する皇族の行啓道路として造成されたのがはじまりで、1916(大正 5)年から 3 年をかけて近隣の山々の桜が移植された。

桜はほとんどが「エゾヤマザクラ」一種であることから、開花時期の 5 月上旬には競うかのように一斉に花が咲く。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

町のシンボルの一つとして長年に亘り愛され続けた二十間道路の桜は、ほとんどが樹齢 90 年を超える高齢樹であるため、樹勢の衰えが随所に見受けられる。そのため、樹勢回復と延命治療が最大の課題であると位置付けており、今もなお、調査・治療を継続的に実施している。

今後は桜並木管理台帳の内容を一新し、これまで以上に桜一本一本と向き合いながら保護・保全に努めていかなければならないと考えている。

また、多くの人の善意により今もなお増え続ける「さくら基金」は、「二十間道路桜並木」を後世に残すべき貴重な財産として守り続けるため、今後の有効的な活用方法を現在検討中である。

新ひだか町 : <http://shinhidaka.hokkai.jp/>

## ❁ 宮城県柴田町 ❁



### まちの概要

仙台駅から南に 25km に位置し、町の総面積は 53.98 平方 km、人口は 39,496 人の県南最大規模の町。

柴田町は、藩政時代、伊達騒動で知られる原田甲斐と名門柴田家の城下町として栄えた「船岡」と、奥州街道の 64 番目の宿場町として栄えた「槻木」が昭和 31 年に合併して誕生した町である。

### さくらの概要

柴田町には、日本のさくら名所 100 選に選ばれた「船岡城址公園」と「白石川堤一目千本桜」があり、東北有数の桜の名所として知られている。毎年「しばた桜まつり」が開催され、県内外から 20 万人を超す花見客で賑わう。

「船岡城址公園」では、1,000 本を超す染井吉野桜が咲き誇り、満開時には全山が桜色に染まる。「白石川堤一目千本桜」は、町から大河原町に至る総延長 8km に約 900 本の染井吉野桜が植えられている。

### 桜についての考え方、今後の施策、整備について

およそ 100 年の歴史をもつ桜の景観を町の誇りとする「柴田さくらの会」を始めとする町民各位のご尽力により、町内のいたるところに桜の植栽事業を展開してきました。このことにより数的には充足された感があります。

今後は、この景観を後世に継承していく施策の展開が喫緊の課題であると考えます。例えば、桜の古木をどうするのか、植え替えするとなれば、ソメイヨシノに拘るべきか、町民の各種希望を取り入れて桜を植栽したら良いのか等の意見を踏まえ、町民と協働により早期に実施したいと考えます。

# ❀ 秋田県仙北市 ❀



## まちの概要

仙北市は、秋田県の東部中央に位置し、岩手県と隣接している。平成 17 年 9 月 20 日に田沢湖町、角館町、西木村の旧 3 町村が合併し形成された。仙北市のほぼ中央に水深が日本一の田沢湖があり南に秋田こまちの産地仙北平野へと開けている。地域の約 8 割が森林地帯で、玉川温泉や乳頭温泉郷と温泉にも恵まれている。角館町地区には、元和 6(1620)年の町並みが現存し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。山桜の樹皮を原材料とした伝統工芸榊細工でも知られている。

## さくらの概要

仙北市角館町の国指定 2 件の桜は、雪に閉じ込められた長い冬の終わりの証として多くの人々に春の訪れを見せてくれる。

武家屋敷一帯のシダレザクラは藩政時代以来の歴史的記念物であり、今ではこの一帯の不可欠な景観構成要素となっており、花の時期はもちろんだが、四季を通じ歴史的風趣を添えている。

一方、まちの中央部を流れる檜木内川堤のソメイヨシノの桜並木は、昭和 9 年今上陛下の誕生を祝い記念植樹したものである。樹齢約 70 年 2km の桜並木には、老木の桜が今も壮観な花のトンネルを見せている。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

伝建群に選定されている武家屋敷の修理風景や国指定の角館のシダレザクラや、国名勝の檜木内川堤のサクラ他の保存管理等、市内の文化財を守りながらその情報を発信することにより新規の方はもとよりリピーターの方に何度も訪れてくださるような安らぎを与えたい。歴史の家並や、四季をとおしてその風趣や地域文化を楽しんで頂きたい。

また町村合併によりこれまで点在して植栽されているサクラについてこれまで蓄積した管理技術を駆使して保存管理に努め、市内地域の高低差による開花日差により、仙北市全体でより長く、違ったサクラ景観を楽しんでいただけるよう努めていきたい。

仙北市 : <http://www.city.semboku.akita.jp/>



## 福島県富岡町



### まちの概要

富岡町は、福島県浜通り地方の中央部に位置し、東は広大な太平洋が広がり、西は緑豊かな阿武隈山系に囲まれた町です。人口は約 16,000 人。町内を二分して太平洋に注ぐ富岡川や阿武隈山地を流れる滝川溪谷、大倉山、麓山などの山々、断崖絶壁の海岸線、離れ島が散在する浜辺など大自然の宝庫です。四季を通じてのぎやすい温暖な気候に恵まれ、降水量も比較的少なく、農作物の栽培に適した暮らしやすい地域です。福島第二原子力発電所より首都圏へ電気を供給している「電気のふるさと」でもある。

### さくらの概要

富岡町の夜(よ)の森(もり)の桜は、明治 30(1900)年、半谷(はんが)清寿(せいじゅ)氏が荒野だったこの地を開拓のため入植したとき、宅地周辺に 300 余本のソメイヨシノを植えたのが始まりとされている。

その後、清寿氏の次男・六郎氏や地域住民に受け継がれ、花の町へと生まれ変わった。樹齢 100 年を超える桜も含めて、約 2.5km 続く桜並木となっている。平成 2 年には、(財)日本さくらの会による「別選さくら名所」に選定された。

これらを含め、現在、町内には約 2,400 本の桜が咲き乱れる。

### 桜についての考え方、今後の施策、整備について

町観光協会などが主となり、桜をキーワードとした桜事業を展開している。春の桜祭りでは「さくら YOSAKOI」を同時イベントとして取り組み、平成 10 年度から 8 年間実施した桜文募集事業は、このほど入選作品 363 編をとりまとめた一冊「さくらぶみ」を記念出版した。また、桜の剪定枝や支障木を原料として染物に取組み、「桜染め」として平成 18 年福島県特産品コンクールの県知事賞を受賞。冬場の桜の利活用として「枯葉イベント」を開催し、町内の子供達に桜とのふれあいを提供している。今後も町民・観光客参加型の桜還元事業を展開し、桜の町「富岡」の PR に努めたい。

富岡町 : <http://www.tomioka-town.org/>

富岡町観光協会 : <http://www.harurara.com/>

富岡町商工会 : <http://www.pulapula.net/>

# ❁ 茨城県日立市 ❁



## まちの概要

太平洋と阿武隈山地に囲まれた自然豊かなまちであり、日立鉱山から発展した、わが国を代表する産業都市である。

また、伊師浜国民休養地は、ウミウの捕獲地として知られ、長良川をはじめ全国の鵜飼地にウミウを供給している。

特色としては、市民運動が盛んで福祉事業や生涯学習、地域コミュニティからさくらのまちづくりまで、多くの団体が幅広く活動し、「地域の力で拓く 人・まち 輝く 新生日立」を基本計画の目標としている。

## さくらの概要

大正初め、煙害で荒廃した山々に、日立鉱山が「大島桜」など煙害に強い苗木を大量に植林したのが始まりとされる。桜のトンネルをつくる平和通りやかみね公園は「日本のさくら名所100選」に選ばれている。

また、十王パノラマ公園には35種約400本の桜が植えられており、平和通り、かみね公園と併せて日立さくらまつりの会場となっている。

本市特有のさくら品種として、平成18年8月に「日立紅寒」が種苗法に基づく品種登録がされた。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

樹勢の衰えた平和通りのさくら(ソメイヨシノ)の植え替えを市民と協働で実施するなど既存のさくらの保護育成に積極的に取り組んでいく。

また、毎年春には「日立のさくらを楽しむ講座」を開設し、日立のさくらの歴史について啓蒙に努めており、市民と一体となってさくらのまちづくりに取り組んでいく。

さらに、本市特有のさくらとして平成18年に品種登録された「日立紅寒」を広くPRするために苗木育成に努めていきたい。

日立市：<http://www.city.hitachi.ibaraki.jp/>

日立市観光協会：<http://www.mito.ne.jp/~h-kanko/>

# ❁ 群馬県前橋市 ❁



## まちの概要

県のほぼ中央にある赤城山の麓に広がる前橋市は、清らかな水をたたえた利根川や広瀬川が市内を流れる、緑豊かで自然に恵まれた都市である。

群馬県の県都として発展し続けてきた本市は、平成16年12月5日に隣接する1町2村と合併し、人口32万人の新しい都市に生まれ変わった。

萩原朔太郎をはじめ多くの詩人を生み出したことから「近代詩のふるさと」ともいわれ、「水と緑と詩(うた)のまち」をキャッチフレーズにしている。

## さくらの概要

赤城南面千本桜は、(財)日本さくらの会「日本のさくら名所100選」にも選ばれた名所であり、毎年4月に開催される桜祭りでは約2kmに渡ってできる桜のトンネルを見に多くの観光客が訪れている。

また、赤城南面千本桜に隣接して整備を行っていた「みやぎ千本桜の森」が、平成19年オープンとなります。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

赤城南面千本桜は、荒廃した山林に豊かな緑を復活させようと地域の人々が一丸となり、昭和31年からソメイヨシノを植栽した桜並木ですが、植えられてから50年が経過し、樹勢も衰えていることなどから、将来にわたってこの地を桜の名所として継承するため、赤城南面千本桜に隣接して、みやぎ千本桜の森を整備してきました。

この、赤城南面千本桜の森には、CO2 ダイエット宣言実行委員会から寄贈された山桜や、市民の手で赤城南面千本桜を育てようと発足した、みやぎ桜守の会の皆さんが植えた桜など、12品種、約400本の桜の苗が植えられています。まだ若木の桜ですが、平成19年4月の桜まつりから園内を散策することができます。

前橋市：<http://www.city.maebashi.gunma.jp/>

赤城南麓交流村：<http://www.hurusato-miyagi.jp/>

# ❀ 埼玉県北本市 ❀



## まちの概要

北本市は、東京から 40～45km にあり武蔵野の面影を残す雑木林が点在する緑豊かな住宅都市である。昭和 46 年 11 月 3 日に埼玉県内 33 番目の市として誕生し、まちづくりの方針に「ずっと住み続けたいまち、きたもと」を掲げ、経済・教育の活性化、便利で公正な行政サービスの提供、子育て支援の充実、自然環境の保全などの取組みを進めている。

## さくらの概要

北本市の桜には、日本五大桜の一つで、大正 11 年に国の天然記念物に指定された樹齢約 800 年の「石戸蒲ザクラ」(他に福島県三春の滝ザクラ、山梨県武川村の山高神代桜、静岡県富士見市の狩宿の下馬ザクラ、岐阜県本巣市の根尾谷淡墨桜)、市の天然記念物として指定され、樹齢約 200 年の「高尾エドヒガンザクラ」、ソメイヨシノの「石戸城ヶ谷堤」など桜の名所が数多くあり市民に親しまれている。平成 7 年には石戸蒲ザクラの後継樹や北本市に転入された方々の故郷から送られた 11 種 182 本の様々な種類の桜を植栽した「高尾さくら公園」を開設し、毎年市内外から多くの人々が訪れている。

また、市内の雑木林には、大宮台地における全ての自生種、ヤマザクラ、エドヒガンザクラ、シダレザクラ、ウワミズザクラ、イヌザクラが今なお健在に自生しており、街路樹として八重桜や企業内の緑地にソメイヨシノなど多くの桜が植栽されている。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

イメージアップ推進のため、市の花である桜を、市民一体となって魅力あるまちづくりを目指す指針として「魅せる」「伝える」「創る」という 3 つの展開方針に沿って事業を推進する。また、石戸蒲ザクラは推定樹齢 800 年という高齢樹で樹勢が低下しており、樹勢維持のための施肥・外科的処置を行うとともに、市民配布したクローン技術を用いた後継樹の育成管理を推し進めていく。

北本市：<http://www.city.kitamoto.saitama.jp/>

# ❁ 埼玉県幸手市 ❁



## まちの概要

幸手市は、埼玉県の北東部に位置し、東京まで約1時間、人口54,930人の緑豊かな住宅都市として発展している。江戸時代は日光街道の宿場町として栄えた。郊外には豊かな田園地帯が広がり、米作が多く行われている。今後予定される首都圏中央自動車連絡道のインターチェンジ建設に伴い、新たな産業基盤の整備が期待されている。

## さくらの概要

市内北部の権現堂堤には約1,000本の桜が1kmに渡って連なり、周辺に広がる菜の花畑とあわせて、春には多くの花見客で賑わっている。最近では都心方面からのバスツアーが増加している。この桜を保全するために平成9・10年に実態調査を行い、平成12年度から毎年、桜保護工事を行っている。また、地域住民により組織されたNPO法人幸手権現堂桜堤保存会による保全活動も活発に行われている。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

NPO法人幸手権現堂桜堤保存会が主体となり、権現堂堤の環境整備を行っているほか、アジサイやヒガンバナなどを活かして、年間を通じた集客に努めている。これまで「さくら10万本運動」として桜の植栽や配布に力を入れてきたが、平成17年度から「ふるさとの桜を活かす運動」として、桜の維持管理に重点を置き、桜の保護や手入れを主体に事業を進めている。



幸手市：<http://www.city.satte.lg.jp>

幸手市観光協会：<http://www.satte-k.com/>

# ❀ 東京都北区 ❀



## まちの概要

東京の北の玄関口に位置し、平成 10 年「第 10 回さくらサミット in 北区」が開催され、全国にさくら文化が発信された人口約 33 万人のまち。

桜の名所地「飛鳥山公園」に同年全国初の公・民営の 3 つの博物館が同時に開館したほか、東京初の防災センターや、旧古河庭園、桜の名所の岩淵水門などを有する。

## さくらの概要

東京の桜の名所の一つである飛鳥山公園は、徳川八代将軍吉宗の肝いりで 1,270 本もの「さくら」が植樹され、江戸時代の庶民の花見場所として全国的に知れわたった。歌川(安藤)広重や葛飾北斎のように、世界的な評価を受けている絵師が、飛鳥山の「さくら」を多数、錦絵に残している。

戦後数度の大規模改修が行われたが、現在では飛鳥舞台や井桁噴水など桜と水と自然石の調和による趣豊かな歴史公園として評価され、春には多くの花見客が訪れている。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

北区のさくらの名所「飛鳥山公園」は、交通の便が良いこともあって、都内はもとより近県からも多くの花見客が集まり、花見時期は大変賑わう。

また、区では「花＊みどり」・やすらぎ戦略を掲げ、区民との協働により区民主体の身近な公園づくりを進めるとともに、国公有地などを活用して区民がうるおいとやすらぎを感じ、憩い散策を楽しむことのできる季節感あふれる公園づくりに努め、魅力的な都市空間を整備し、花とみどりのまちづくりを推進している。

平成 17 年 10 月には「環境共生都市」と「健やかに安心してくらするまち北区」を区民とともに実現し、将来にわたって健康と環境への願いを明らかにするために「元気環境共生都市宣言」を行った。

北区(さくらサミット) : <http://www.city.kita.tokyo.jp/docs/service/065/006563.htm>

# ❁ 新潟県新発田市 ❁



## まちの概要

新発田市は、県都新潟市に隣接する阿賀北の中核都市で、北西には白砂青松と形容される美しい海岸が広がり、南東には磐梯朝日国立公園、胎内二王子県立自然公園がある。

城下町の歴史と文化、全国的にも有名な月岡温泉、山から海までの豊かな自然など、たくさんの魅力を持つ新発田市は、「愛せるまち、誇れるまち、ふるさと新発田の創造」を目指し、これからも発展していきたい。

## さくらの概要

櫛形山脈の主稜のひとつ大峰山は、ヤマザクラの地として名高く、昭和 9 年には「大峰山椽平サクラ樹林」として天然記念物に指定された。この桜は何万年も前に自生したものが老木となり枯れ、その根元から若木が出、それを繰り返すことででき上がった桜樹の原始林で、長い年月の間に幾百種の変種が生まれ、現在 40 余種・約千本が群生、4 月下旬から 5 月中旬に満開の姿を見せてくれる。また、櫛形山麓の 5.2ha の敷地に 100 種、約 300 本を植栽した「桜公園」を整備し、春には多くの方々が公園を訪れる。

そして、加治川堤には、長堤十里、40km に約 6000 本が植栽され当時は日本一といわれた堤桜があった。この堤桜は、昭和41年・42年に連続で発生し大きな被害をもたらした羽越水害で、堤防決壊の一要因ということで河川改修に伴い全てが伐採された。その後、ぜひあの当時の姿を復元したいという声があがり、平成元年に旧建設省の「桜堤モデル事業」に認定、平成 4 年度から植栽を始め、最初のころに植えた桜樹は今、大きく育ちつつある。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

加治川の桜堤、大峰山椽平サクラ樹林を観光資源として、活用していきたい。地元で活動する、桜の保護団体と協力しながら、イベント開催などのソフト分野を重点的に進めていきたい。

新発田市 : <http://www.city.shibata.niigata.jp/>

加治川商工会 : <http://www.niigata-hi-system.com/kajikawa/>

# ❁ 新潟県上越市 ❁



## まちの概要

新潟県の南西部に位置する上越市は、その昔、越後国府が置かれ、古くから交通の要衝として栄えた長い歴史に育まれたまちである。戦国時代の名将上杉謙信公の居城であった春日山やゆかりの地をはじめ、多くの地域資源を有し、雄大な日本海と豊穡の大地、四季折々の美しい山々に抱かれた豊かな自然と歴史文化にあふれている。

## さくらの概要

ソメイヨシノを中心に約 4,000 本の桜が植えられている高田公園では、毎年見頃となる時期にあわせて観桜会を開催。ボンボリの明かりに照らし出され、お堀の水面に映る様は大変美しく、日本でも有数のものとして知られている。

その他市内には、公園や湖畔など桜の名所が数多くあり、4 月前半から後半まで、各地で桜を楽しむことができる。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

上越市の木として定められている桜は、昔から地域住民にとって身近なものとして大切にされていることから、今後も桜の保護に努めていく。一方で、毎年 4 月上旬から中旬に高田公園を会場に開催される「高田城百万人観桜会」は、上越市の観光の目玉として一番の集客を誇っている。特に夜のライトアップは幻想的な雰囲気醸し出し、多くの人を魅了していることから、夜桜を中心に積極的な集客を図っていくこととしている。

上越観光ネット：<http://www.city.joetsu.niigata.jp/kankou/index.html>

# ❁ 長野県伊那市 ❁



## まちの概要

平成18年3月31日に伊那市、高遠町、長谷村が市町村合併し、人口約74,000人の新「伊那市」となった。

高遠城址公園の桜は基より、中央アルプスと南アルプス、市内中心を流れる天竜川・三峰川などの雄大な自然を有し、「二つのアルプスに抱かれた自然共生都市」として、産業・観光の発展と自然環境との共生を目指している長野県南部の中核都市。

## さくらの概要

明治の廃藩置県により高遠城が取り壊されたが、明治8年に有志の手で近くにあった桜の植樹が行われ、高遠城址公園としての整備が始まり現在に至っている。この桜はタカトオコヒガンザクラというコヒガンザクラの一種で大木となり、花も赤みが強い特殊な桜で、約1,500本に及ぶ樹林は県の天然記念物に指定されている。

新「伊那市」となり、ソメイヨシノやコヒガンザクラを有する伊那公園や春日公園を始めとする桜の名所が市内各地に数多く存在している。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

高遠城址公園を中心とするタカトオコヒガンザクラの貴重な財産を後世に継承するため、旧高遠町では昭和54年桜憲章を制定。桜の保護、育成鑑賞に対する教育の重視、増殖計画による純粋な種苗の育成、苗木の適正な管理などを定め、現在では桜守の手により保護・育成が行われている。

また、新「伊那市」となり、「日本一の桜の里づくり」プロジェクトを立ち上げるとともに、日本風景街道モデルルート「二つのアルプスに抱かれた信州伊那 アルプス街道」において市内の桜の名所を「後世に残したい風景」として推進し、桜の保護・育成に努めている。

# ❀ 岐阜県本巣市 ❀



## まちの概要

平成 16 年 2 月 1 日に本巣町、真正町、糸貫町、根尾村の 3 町 1 村が合併して人口約 3 万 5 千人の本巣市となった。

県都の岐阜市の北西に位置し、北は福井県と境を接する山間部から南は濃尾平野の中ほどの平坦部にいたる。南北に細長くて、北に高く南に低い地形となっている。

国指定天然記念物の淡墨桜がある旧根尾村から引継ぎさくらサミットに参加。

## さくらの概要

樹齢 1,500 余年の淡墨桜は、継体天皇のお手植えの桜と伝えられる。

桜では日本一の巨木といわれ、日本桜名所 100 選にも選ばれた。

国指定の天然記念物、蕾のときは薄いピンク、満開にいたっては白色、散りざわには淡い墨を引いたような色をおびるといわれる。

過去、幾度も枯死の危機に陥ったが、山桜の根継ぎによる回生手術や作家宇野千代氏ら各界の保護活動によって、現在も盛観を保ち、毎年 4 月上旬には全国から 20 万人もの観光客が訪れる。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

現在市内各所に桜の木が植えられているが、その多くはソメイヨシノであり、比較的寿命が短く病気にも弱いため管理に経費と労力をかけている。

寿命が長く病気にも強い淡墨桜(エドヒガン)の苗木を公共施設を中心に市内の多くの場所に植栽すること推進し、その名の普及を図りたい。

本巣市 : <http://www.city.motosu.lg.jp/>

# ❁ 奈良県吉野町 ❁



## まちの概要

吉野町は紀伊半島のほぼ中央に位置し、吉野杉や桧の美林に囲まれ、清流吉野川が町の中央を東西に流れる風光明媚な町である。一目千本と称される吉野山の桜を中心とした観光産業と、木材関連産業を基盤として発展してきた。南朝の哀史の里、山伏の宗教「修験道」の霊場としても名高く、数多くの人々が訪れている。

## さくらの概要

4月上旬から中旬頃、山の尾根から谷にかけてシロヤマザクラを中心に約3万本が咲き乱れ、山全体をほんのり桜色に染め上げる。平安時代の古今和歌集にも詠われている吉野の桜は1000年の歴史があり、修験道の聖地として信者による献木が古くから行われ、大切に保護されてきた。

その桜に惹かれ、古の時代より多くの文人墨客が訪れ、その美しさをしたためている。また、平成16年7月吉野山が「紀伊山地の霊場と参詣道」の中核の一つとしてユネスコの世界遺産に登録され、毎年40万人の観光客が訪れる。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

吉野山の桜は、信仰の証として、植え続けられ保護されてきた。現在は、財団法人吉野山保勝会や地元住民の奉仕によって維持されている。

近年、全国的に桜樹の樹勢の衰えが目立ち心配されているが、吉野桜も例外ではなく、補植や施肥、下草刈などの地道な作業を積み重ねていく必要がある。

昨年より、観桜期における交通対策や環境保全、桜の保全を目的に観光駐車場の観光バス予約制および協力金の徴収を実施し、望外の効果が得られた。

地元先人達のたゆまぬ努力によって護られて来た吉野山の桜を護るために、地元はもとより吉野桜を愛でる多くの人達にも桜の保全に関心をもっていただき、吉野山の桜の活性化が他の桜の名所のよき先例となるよう地道な努力を重ねていかなければならないと考えている。

吉野町 : <http://www.town.yoshino.nara.jp/>

吉野町(桜情報) : [http://www.town.yoshino.nara.jp/sakura\\_off/index.htm](http://www.town.yoshino.nara.jp/sakura_off/index.htm)

# ❁ 鳥取県南部町 ❁



## まちの概要

鳥取県西端に位置し、東西12km南北17km面積114.03km<sup>2</sup>人口約12,000人の町で、特産の富有柿・梨・イチジクの生産で有名。町内には、日本最大級のフラワーパーク「とっとり花回廊」があり、四季それぞれの花が一年中楽しめる数多くの人々が訪れている。

## さくらの概要

法勝寺城山公園及び法勝寺川沿いの土手には、約3kmにわたって続く桜並木がある。夜になりぼんぼりに灯りが灯ると浮かび上がった桜が川面に映りだされ、何とも幻想的な雰囲気をかもし出し、多くの人々が訪れている。ソメイヨシノ 約1,000本

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

法勝寺川沿いの桜は、今から50年ほど前に町民の手で植えられ、今もボランティア団体により大切に維持管理してもらっている。今後も、町の貴重な財産である桜を守っていく運動を進めていきたい。

南部町観光サイト：<http://www.town.nanbu.tottori.jp/kanko/>

# ❀ 島根県益田市 ❀



## まちの概要

益田市美都町は、島根県の西部、中国山地の嶺線に近い中山間地帯にあり、総面積 132.64 平方 km の広さを持ち、全面積の 87%が林野で占められている。

人口は 2,700 人。美都温泉、みと自然の森、ひだまりパークみと、秦佐八郎記念館、双川峡、四つ山、金谷城山桜などの観光施設がある。

## さくらの概要

金谷城山桜(かねだにじょうざんざくら)

種類:エドヒガン

樹齢:570年

樹高:15m

幹周り:6.67m

由来:入船山城を築いた澄川氏が金谷の地に移り住んだ際に、城の出丸部分にあたる所に植えたと伝えられている。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

今まで植樹した桜の木を管理していくとともに、病害虫から守る取り組みを実施していきます。

# ❁ 島根県雲南市 ❁



## まちの概要

雲南市は大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田村・掛合町の6町村が合併して平成16年11月1日に誕生した新しい市。雲南市は、都市地域と異なる固有の自然や歴史文化、産業等を形成し、多彩な地域の魅力ある資源を保有している。「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」をキーワードにこうした地域資源を最大限活用し新たなまちづくりに踏み出したところである。

## さくらの概要

平成2年に(財)日本さくらの会より、日本さくら名所100選に選定された「斐伊川堤防桜並木」はヤマタノオロチ退治の舞台となった斐伊川の清流に沿って約2kmわたる桜トンネルとして、中国地方随一の名所としてその名を馳せている。

この斐伊川堤防の桜は、明治の終わりごろから町民の手によって植えられた。現存する桜は、昭和の初めに土手の両側に植えられ、多年町民が愛情を注ぎ町のシンボルとなっている。

現在約1,500本の桜が斐伊川堤防、木次公園など町の中心部にあり、シーズンには多くの観光客で賑わう。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

雲南市となり、構成する町においても緑の桜「御衣黄」を振興する三刀屋町を始め、多くの桜名所もあり市民の関心も高い。平成17年には住民参加組織である雲南市さくらの会が結成され、会員募集や管理研修会を開催し全市的にさくらの振興を行うこととなった。本年1月には、市の花として「さくら」が選定され、ますますさくらの振興を雲南市全域で取り組み、市民共通の誇りとなるような展開を行いたいと考えている。

雲南市：<http://www.city.unnan.shimane.jp/>

# ❁ 熊本県水上村 ❁



## まちの概要

熊本県の東南部、宮崎県との県境に位置し、総面積 192.11 平方 km のうち、約 92% が森林に囲まれた人口約 2,600 人の村。日本三急流の一つ「球磨川」の源が、ここ水上村にある。

## さくらの概要

昭和 35 年に村の中央部に完成した多目的ダム「市房ダム」の周囲約 14km に、修景事業として一万本の桜が植栽された。その後、昭和 59 年に始まった「くまもと日本一づくり運動」のなかで、当時の県知事であった細川護熙氏の提唱により、「日本一の桜の里づくり」が始まった。現在、住民総参加の桜の下草刈り、空き缶・ゴミ拾い等、住民一人ひとりの手で育てられている。また、「桜図鑑園」には約 80 種類の桜の木が植栽されており、観光面での整備がなされている。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

昭和 35 年に完成した水上村市房ダム湖。完成後、当初 1 万本の桜の木がダム湖周辺に植栽され、村民ボランティアの管理等で現在では 2 万本もの桜で覆いつくされている。この間、ダム湖周辺には桜図鑑園が整備され、今では約 70 種、約 100 本の桜を楽しむことができる。また、ダム湖周囲の道路も整備されてはきたが、今後、更なる整備を図るため、市房ダム湖周辺整備計画を現在策定中である。

熊本県球磨川源流水上村の村づくり: <http://www.vill.mizukami.lg.jp/>

# ❀ 宮崎県北郷町 ❀



## まちの概要

宮崎県の南部に位置し、総面積 178.49 平方 km の 400 年の歴史を誇る飫肥杉の町で面積の 88% が山林で占められている。人口 5,062 人、2,036 世帯の町。

## さくらの概要

「チェリータウン北郷」を目指し、昭和 56 年から桜の植樹活動を展開している。植栽は自治体公民館や各種民主団体、誘致企業等の協力のもと、公共施設周辺や沿道など約 18,000 本程度の植栽を完了している。そのうち町内の花立公園には 10,000 本の桜が植栽されており、多くの観光客が訪れる。また、12 月には山桜のほか町内の桜愛好家が開発した「日南寒咲 1 号」が早咲で開花する。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

今後も各団体との植樹活動や、植樹イベント等をおこない様々な形で植栽活動を展開していき、「チェリータウン北郷」を目指し観光誘客に努めていきたい。

また、すでに成長している桜について、間伐等の手入れを今年度行う。植樹後の整備等も今後の課題としている。

# ❀ 長崎県大村市 ❀



## まちの概要

長崎県の中央部に位置し、西に大村湾、東に多良岳県立自然公園を臨む、東西 12km、南北 16km、総面積 126.33 平方 km を有する人口 90,769 人 (H18.2.28 現在) の市。日本初のキリシタン大名大村純忠や天正遣欧少年使節などキリシタンの歴史遺産を活用し、観光立市を目指した取り組みを推進している。

## さくらの概要

大村市には、「さくら名所 100 選」に選ばれた大村公園をはじめ、市内の公園、学校等の公共施設を中心にオオムラザクラ、クシマザクラ、ソメイヨシノなど 10,000 本程度の桜が植えられている。中でも、国指定天然記念物であるオオムラザクラは、八重桜の 2 段咲きで花弁の総数が 60～200 枚もある優雅な花で、里桜中の名花とされている。大村公園では、桜、花菖蒲など、3 月 25 日から 6 月 20 日まで花まつりで賑わう。

## 桜についての考え方、今後の施策、整備について

大村公園は、わが国近代公園の先駆者として知られる長岡安平が玖島城跡に植えたことに始まり、桜の名所として有名になりました。「さくら名所 100 選」に選ばれたのを契機に「さくらの街おおむら」を広くアピールするための植栽事業を展開し、平成 13 年度に「さくらの街推進委員会」を設置して、より一層のさくらの街の推進に向けての取り組みを行っています。今後も市民と行政が一体となったさくらのまちづくりを推進していきます。



大村市 : <http://www.city.omura.nagasaki.jp/>

大村観光ナビ : <http://www.omuranavi.jp/>

(社)大村市観光コンベンション協会 : <http://www.e-oomura.jp>

(社)大村市物産振興協会 : <http://www.omcbk.org>

